アニメ野生のさけび (1982)

メディア TV アニメ

ジャンル ドラマ

製作国 日本

TV放映 1982/05/05 ~ 1982/09/25
テレビ東京

【解説】

昭和期の文壇で活躍し「椋鳩十児童文学賞」に名を残す作家・椋鳩十（むく・はとじゅう）の著した動物文学を原作とする、毎回一話完結のTVアニメシリーズ。山から拾われてきた一匹の子ギツネ。だがなかなか人間の餌づけを受け入れず、何も口にしようとなしない。しかし日にちが経ってなお、なぜか子ギツネは元気だった。実は、人間に捕まった子ギツネを心配したギツネの両親が、夜間、人目を盗んで子供のもとに餌を届けに来ていたのだ……。 （「金色の足あと」）。アニメ制作は『合身戦隊メカンダールロボ』『アンデス少年ペペロの冒険』の和光プロダクションが担当。メイン脚本家は、タツノコプロやサンライズの諸作で活躍の鳥海尽三。1970年代の深夜ラジオ番組『たむたむたいむ』（ニッポン放送）のDJとしても大人気だった放送作家・かぜ耕司が、主題歌「愛する地球（ほし）の上で」の作詞を手がけている。

【クレジット】

監督 大町繁
玉沢武
製作 江津兵太
高橋澄夫
郷田三朗
原作 椋鳩十
脚本 海老沼三郎
鳥海尽三
山中延高
作画監督 鈴木康彦
ナレーション 牟田悌三
声の出演 久世龍之介
益富信孝
植田敏生
立沢雅人
田中耕二